

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	熊本県	代表者名	木村 敬
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	デジタル戦略推進課
担当者役職	主事	担当者氏名	高本 あすか
住所	862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	令和6年度市町村DX研修
概要	熊本県内市町村のDX推進に必要な知識や考え方、スキル習得を目的とした研修を実施する。 この研修の一環として、BPRに関する必要な知識等を各市町村内部へ展開していくために、御講演いただきたい。		
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） その他		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年11月20日	講演(実地)	15時15分	16時45分	
				活動時間（分）	90
2-2. 派遣場所	会場名	熊本県庁	最寄駅	JR水前寺駅	
	所在地	熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号	最寄駅からの交通手段	タクシー	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	齋藤 理栄
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	深谷市役所のDXに係る取組みについて、業務担当者としての経験に基づき課題も含めて講演いただいた。今回の対象であるDX推進担当職員と同様の視点であったことから、施策実施に向けての課題整理や各部署への働きかけの方法、施策の実行について、学ぶ機会となったことが良かった。 特にグループワーク（グループでの意見交換、ペア学習）では、第三者からの視点で各自治体における課題の可視化ができたことなど、各自治体において実りのある内容となり、好評だった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	39人			
	自治体職員	住民	企業・団体			
	人数	39	0	0	その他(学生など)	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的に下記記入下さい）	市町村DX推進部門の中核人材（係長級）にむけて、DX推進のために必要な知識や考え方、スキル習得を目的とした研修を令和5年度から継続して行っており、研修での情報を活用して庁内体制の構築を進めた団体がある一方、特段何もしていない団体もある。各市町村の取組状況は差が出てきている。また、各市町村においてDX担当部署のみならず、庁内の全体的なDX推進のために前提としてBPRの知識等が必要である。
支援により目指す成果（具体的に下記記入下さい）	市町村のDX担当課や関係課においてBPRの必要性の再認識を行い、推進のための手法や、BPRを推進できるように実際に庁内で展開する際の手法をグループワーク等を通じて学んでもらいたい。また、各市町村において庁内展開を経て、職員の負担軽減や住民の利便性向上につなげたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	(講演) ・深谷市の窓口改革について (課題整理等含む) ・窓口BPR支援について (グループワーク) ・グループでの意見交換、ペア学習等
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	県内市町村との意見交換を含めたグループワークを行ったことで、第三者からの視点で各自治体における課題の可視化ができた。 また、深谷市役所をはじめとした他自治体での課題解決手法を学べたことで、各自治体でのDX及びBPR推進が期待される。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <input type="checkbox"/> ⑦その他 ・グループワークで作成した各自治体をモデルとしたユーザ体験(証明書申請体験)資料 各自治体に持ち帰り、BPRを推進する際の窓口体験の参考となる資料の作成ができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 満足度(4段階評価)及び意見等の自由記載のアンケートを実施した。 講演に対する満足度では、全体的に満足との評価が多かった。グループワークに対しては、時間が短く、もう少し意見交換等を行いたかったとの声もあった。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい <input type="checkbox"/> ④予算以外で、今後取組む事項がある 熊本県内の各市町村において、参加者(DX担当課係長等)から、今回学んだ知識・資料等を活用し、BPRの庁内展開を推進予定。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	BPR研修を受講した市町村DX担当者を通して、各市町村におけるBPR推進を支援する。 BPR推進により、職員の業務の見直し及び事務負担軽減を実現することで、住民の待ち時間の軽減や職員が住民と向き合う時間(相談等)の充実など行政サービスの質の向上を図り、住民のストレス軽減や行政への信頼感につなげることを目標とする。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

